

令和5年度
第2回加賀市健康福祉審議会高齢者分科会会議録

日 時：令和5年8月24日（木）午後1時30分～2時30分

場 所：加賀市役所別館302・303会議室

出席委員：◎橘、○山崎、新口、藤川、鈴木、北出、河嶋、中野、横倉、松村、石川、澤田、小川、東田、中屋

（敬称略・◎会長、○副会長）

次第

開 会
課長挨拶
委員委嘱
議 題

- | | |
|---------------------------|---------|
| 1 介護保険制度改正等の動向について | 【資料1】 |
| 2 将来人口要介護認定者数の推計等について | 【資料2】 |
| 3 お達者プランの策定状況について | |
| (1) 在宅介護実態調査について | 【資料3-1】 |
| (2) 在宅生活改善調査について | 【資料3-2】 |
| (3) 居所変更実態調査について | 【資料3-3】 |
| (4) 介護サービス供給量調査について | 【資料3-4】 |
| 4 介護サービス等の供給量の確保について | 【資料4】 |
| 5 地域密着型サービス事業者の指定（更新）について | 【資料5】 |

閉 会

議事要旨

議題1 介護保険制度改正等の動向について 資料1
質疑応答 特になし

議題2 将来人口要介護認定者数の推計等について 資料2
質疑応答 特になし

議題3 お達者プランの策定状況について

(1) 在宅介護実態調査について	資料3-1
(2) 在宅生活改善調査について	資料3-2
(3) 居所変更実態調査について	資料3-3
(4) 介護サービス供給量調査について	資料3-4

質疑応答 特になし

質疑応答

鈴木委員 第8期介護保険計画において、施設整備を行う中で、人材確保施策を同時に行う計画だったと記憶している。しかしながら、第8期介護保険計画において、各事業所に反映されるような、具体的な施策がなされていないと感じる。第9期介護保険計画時と言わず、第8期介護保険計画中に何か施策を考えているのか、明確に教えてほしい。

事務局 介護人材確保を図る目的で、資格取得に向けた、介護職員初任者研修や介護福祉士実践者研修等にかかる費用の補助制度を設けている。加えて、今年度は職場体験事業を新たに実施しており、市内高校生や近隣の大学生を対象に、市内介護サービス事業所で実際に職場を体験してもらい、介護の魅力を発信・推進を図っている。

鈴木委員 資格取得については、介護人材の卵を育成するという意味で、先の長い話に思える。各介護事業所としては、来週、明日の人材が不足というような、切迫した状況が続いている。資格の取得を補助してもらうより、介護人材が欲しいと思う事業所が多いはずなので、その実態をよく把握してほしい。無資格者でも介護の仕事が出来る方の掘り起こしについて、実質的に即効性のある施策を考えていただきたい。

派遣については、紹介料として大きな金額が支払われており、事業所としては、経営が切迫している状態である。このような実態を踏まえて、市は施策を考えていただきたい。このままだと、一つ一つの介護事業所が崩壊していくことになり、サービスの低下以前の問題になるので、人材不足の問題は、喫緊の課題として、第8期介護保険計画中に取組んでいただきたい。

事務局 いろいろと策を講じてきたが、決定打となるような策がまだ出てきていない状況が続いている。人材確保の取組として、合同面接説明会というような新たな取組を行ったことや、今年度はハローワークと連携して合同就職説明会の開催を計画している。

また、介護サービス供給量調査の結果や、事業者ヒアリングでの意見等を踏まえて、いろいろな案を出していき、来年度以降と言わずに、今年度から出来ることは、取組んでいきたいと考えている。

橘会長 介護人材不足は、地方都市にとって非常に悩ましい問題。若い人の移住を推進していくなど、人口を増やす取組をしないと、解決していかないと考える。現在65歳以上の前期高齢者が、介護の人材として働いている時代なので、そのことを踏まえ、喫緊の課題として捉えていただき、市として様々な案を考えて、対応していただきたい。

中谷委員 介護の仕事において、業務の分業化を図ってみてはどうか。例えば、送迎の運転手などは、資格がない他の人に手伝ってもらうなど、検討してい

ただきたい。

事務局 いただいたご意見をもとに、今後の施策に取り組んでまいります。

澤田委員 第三者委員として、事業所の状況を見ているが、本当に人材が不足している。中谷委員がおっしゃった「資格がない人に、送迎等を行わせる」という提案について、そういった資格がない人材についても、不足している状況である。70歳以上は、働く意欲があり、介護に対しての心構えを持った人が多い中、お金儲けの考えだけで、人材不足の介護職であれば雇ってもらえるだろうという横着な考えの人もある。そういった人でも、施設としては来てくれるだけありがたいので、雇っている状況。そういった人は、マナーが悪く、同僚が注意しても言うことを聞かない。人材が不足しており、1人でも多く雇用したいという気持ちは分かるが、心掛けのいい人が施設職員として来てほしいと思う。ハローワークを通して、意欲的な方を採用することが望ましい。

鈴木委員 ハローワークに来た求職者に、派遣会社がスカウトしていることは、皆さんご存じだろうか。敷地内では違法になるため、歩道や公道で、求職者に声をかけて、自分の会社に登録するよう促している実態がある。派遣会社は登録者が増えて潤うが、ハローワークから人がいなくなるという流れになっているというこの実態を、知っておいたほうが良い。

事務局 そのあたりについては、十分把握しきれていない部分がありますので、今後ハローワーク等と情報共有して進めて参りたいと思う。

議題5 地域密着型サービス事業者の指定（更新）について

資料5

質疑応答

山崎委員 高齢者分科会への報告を経て指定を行うというのが本来の流れである。今回は分科会の開催に間に合わず、事後報告となったことは理解したが、次回以降は、事前報告に切り替えるようにしていただきたい。

なお、見える化システムにて加賀市の高齢化率を見ると、他市町村に比べて、非常に高い数値となっていた。このままだと、消滅になりかねない。この大きな問題に、真剣に取り組んでいく必要があると感じる。

閉会